

平成23年度 インターンシップ学生アンケート集計結果

■アンケート概要

実施時期：平成23年10月3日

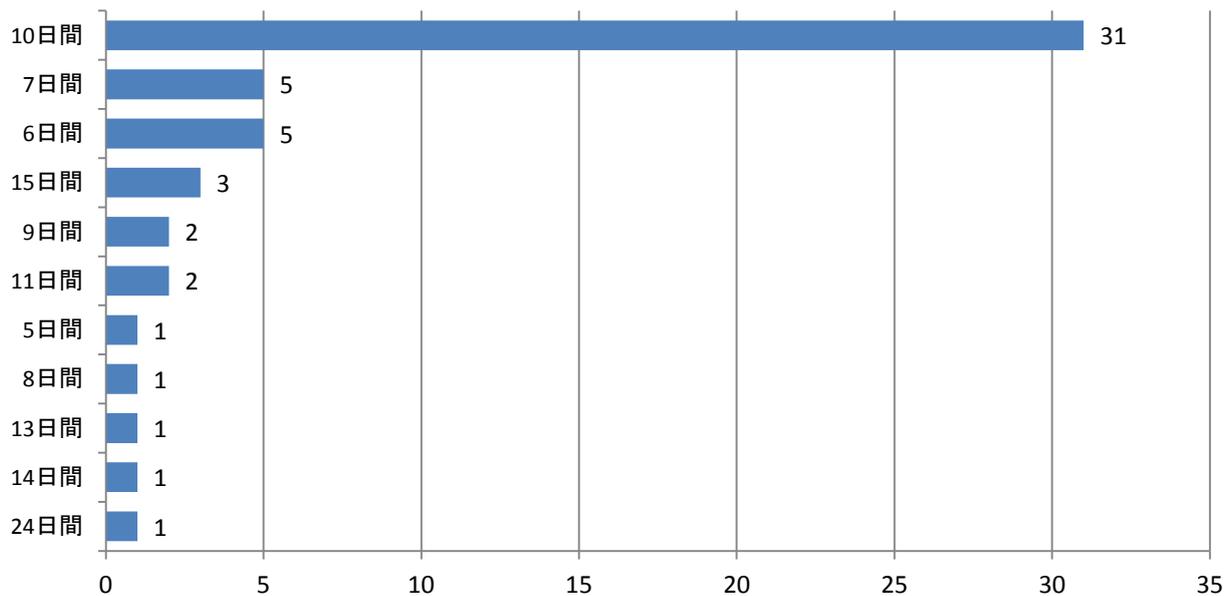
対象学生：本年度インターンシップに参加した全学生(59名 九工大 54名、北九大 5名)

回収率：90% 回収数 53件

1. 実習内容について

1) 実習日数(実働)

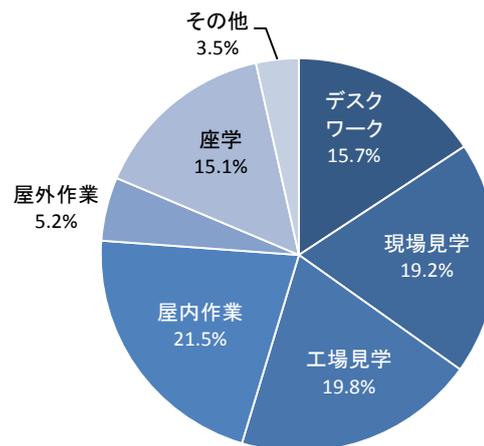
単位:人



2) 主な実習内容(複数回答可)

単位:人

デスクワーク	27
現場見学	33
工場見学	34
屋内作業	37
屋外作業	9
座学	26
その他	6



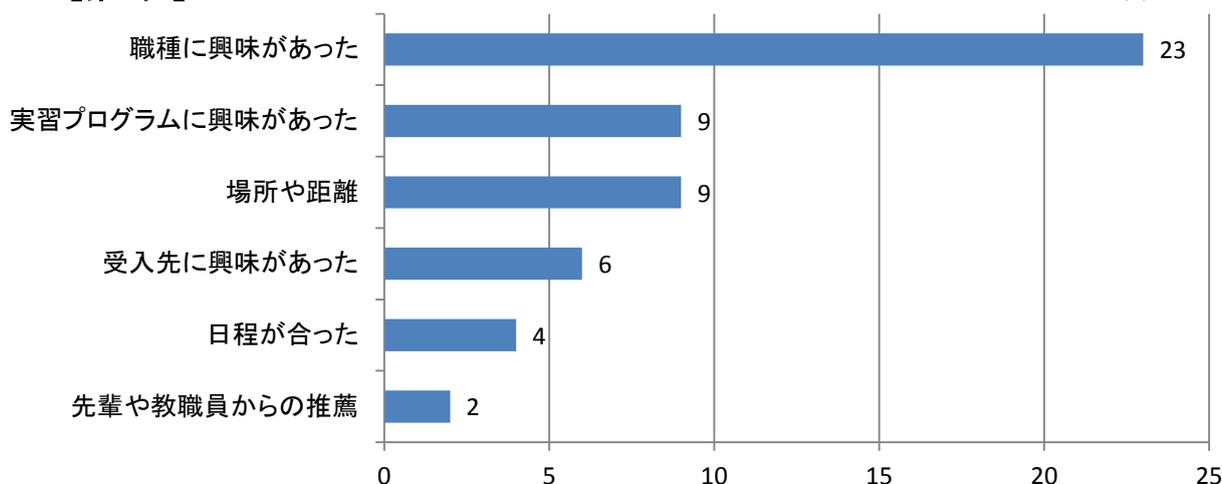
《その他の内容》

- ・営業 (2件)
- ・設計業務
- ・社外出張研修
- ・出張同行
- ・研究会参加、グループ討論

2. 実習先を決めた理由（上位3位）

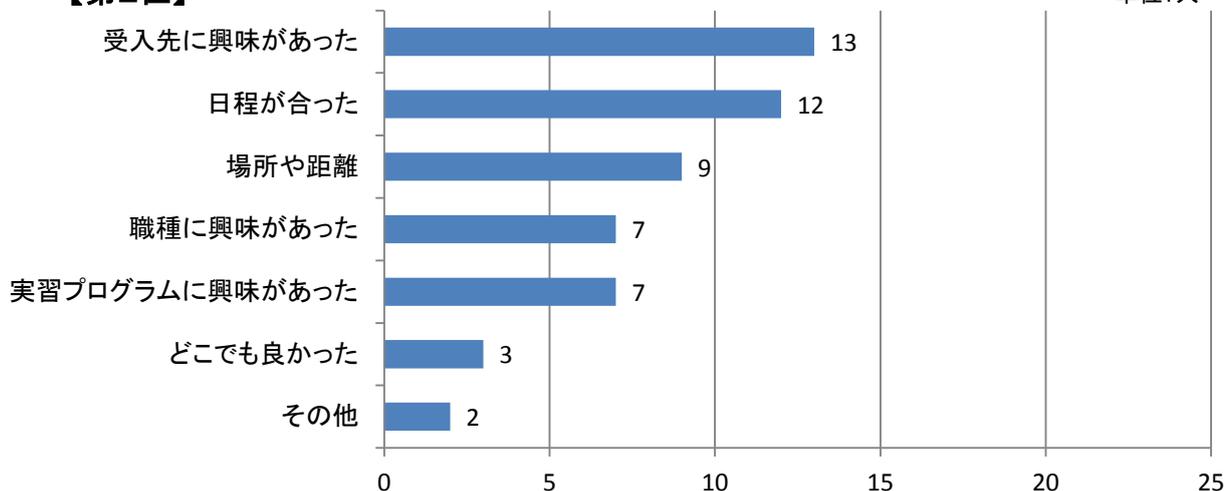
【第1位】

単位：人



【第2位】

単位：人



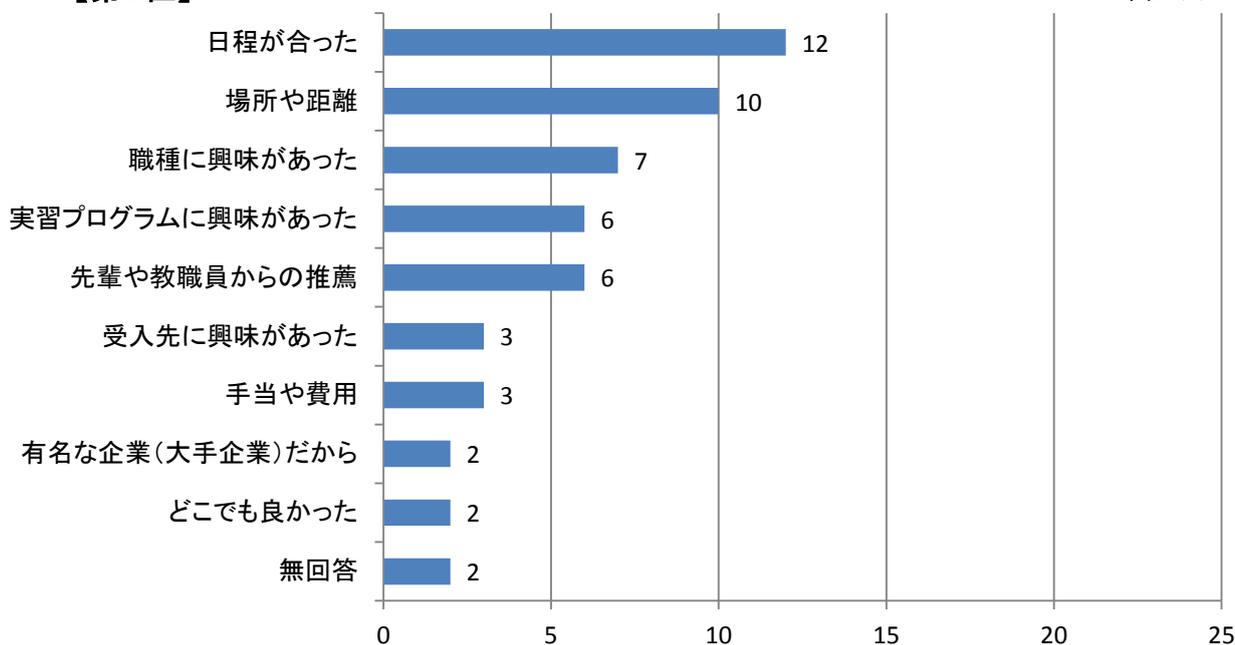
《その他》

・コーディネーターの推薦

・面接がない

【第3位】

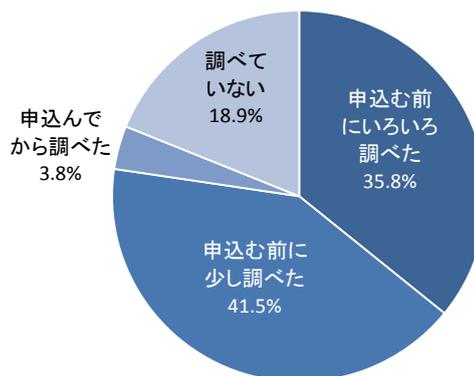
単位：人



3. 実習前に受入先について調べましたか。

単位:人

申込み前にいろいろ調べた	19
申込み前に少し調べた	22
申込みしてから調べた	2
調べていない	10

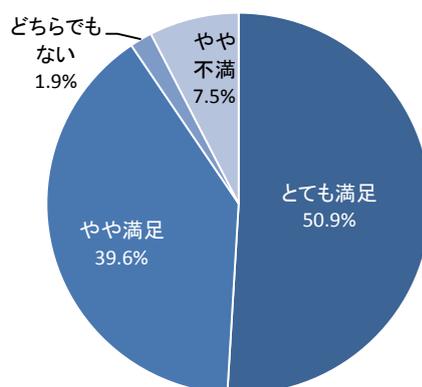


4. 実習についての満足度

1) 実習初日の説明やガイダンス

単位:人

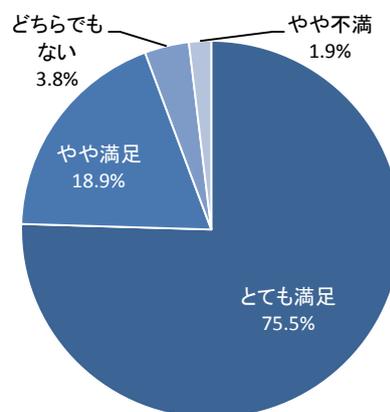
とても満足	27
やや満足	21
どちらでもない	1
やや不満	4



2) 実習中の指導や質問に対する対応

単位:人

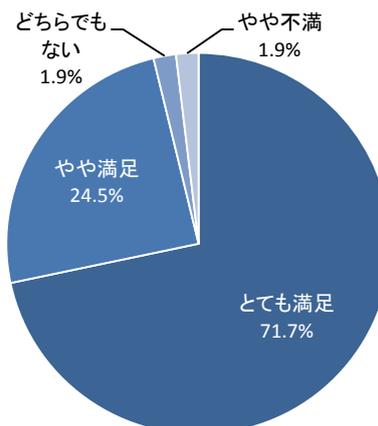
とても満足	40
やや満足	10
どちらでもない	2
やや不満	1



3) 総合的な満足度

単位:人

とても満足	38
やや満足	13
どちらでもない	1
やや不満	1



5. インターンシップ実習を受けた動機(自由筆記)

- ◇自分の興味のなる職種・企業の仕事や雰囲気を実際に体験したい。
- ◇自分が学んでいることが企業でどのように活かされているのか、自分の目で見たくかった。
- ◇社会人としての基本的なマナーや心構えを学びたいと思ったから。
- ◇就職活動の一環として
- ◇必修単位であったため。
- ◇社会人の方々と話をしているいろいろ学びたいと思ったため。
- ◇今の自分に何が必要かを知りたかった。
- ◇自分の専攻している内容と関係ある企業だったから。
- ◇先輩や社会人の方などに勧められてインターンシップに興味を持った。

6. 実習前の期待や不安

《期待》

- ◇関心のある職種の仕事を実際に体験できること。
- ◇企業の方、他実習生と交流できるということ。
- ◇大学でやっている研究とは違うことをするのが楽しみだった。
- ◇自分自身をステップアップさせたいと思っており、不安はなかった。
- ◇現場で働く方達の生の声を聞けること。
- ◇自分が今まで体験したことのないことを10日間出来ることにワクワクしていました。
- ◇実習でどこまで仕事をさせてもらえるかということ。
- ◇自分が学校で学んでいることについて、より深く知ることが出来るということ。
- ◇社会人としてのルールを学ぶことができるということ。
- ◇学生では工場内などに入る機会がないため。
- ◇実習で、どのようなことを吸収できるか。
- ◇異分野(=学校では習わないこと)が学べるということ。

《不安》

- ◇朝が早いため、遅刻しないかということ。
- ◇実習内容が分からなかったこと。(事前準備ができなかった)
- ◇社員の方とのコミュニケーション
- ◇与えられた課題をきちんとこなしていけるのか。
- ◇通勤距離が長く、その間の安全性。(通勤手段:原付バイク)
- ◇自分の能力で実習を上手くやっていけるか。
- ◇学校で学んだことを活かせるだろうか。
- ◇自分の失敗や足手まといから社員の方に迷惑をかけるのではないか。
- ◇社会でのマナー
- ◇教えて頂ける方の人物像(丁寧に教えてもらえるか、緊張せずに話せるか)
- ◇異分野(全く知らないこと)を習うかもしれないこと。

7. 実習で得たもの

- ◇社会人としてのマナーや危険な工場内でのルールを学んだ。
- ◇商品開発や企業調査のアプローチ方法
- ◇責任感の持ち方とメリハリの付け方。
- ◇大学生活の重要性
- ◇コミュニケーション能力の大切さ
- ◇働くことの楽しさ
- ◇大学で学んでいることがどのように使われているか。
- ◇ものづくりに対する考え方(責任を持って、使う人のことを考えるということ)
- ◇当たり前のことを当たり前によりこなすことの大変さ
- ◇ハウレンソウを完璧に使いこなすことの大切さ
- ◇主体性
- ◇チームワークの大切さ
- ◇時間の有効活用
- ◇働いてお金を稼ぐことの大変さ
- ◇作業効率や他の社員の方の仕事を楽にするにはどうしたらよいかを考えること。
- ◇常に不測の事態に備え、betterな方法を考えながら仕事すること。

8. 実習前後での考え方の変化

- ◇指示されたことをただ行うだけではいけなくて、如何かということ常を考えながら、先のことを考えながら行うことが大切だと思ようになりました。自分が働いている姿が全く想像できなかったのですが、企業の方の働く姿を見て、自分もあんな風に活躍したいと思ようになりました。
- ◇働くことは大変というだけでなく、やりがいやそれに伴う楽しさも多くあること。
- ◇会社を選ぶ基準が変わった。やりがい、人との出会いを大事にしたいと思ようになった。
- ◇自分の物事を考える視点がいかに狭かったか痛感した。
- ◇実習へ行く前は就職のことについて具体的に考えたことがほとんどなかったのですが、実習をしているうちに自分はどういうことをしたいのかなど、真剣に考えていかなければならないと思いました。
- ◇仕事は自分で楽しく工夫することが大切だと思いました。
- ◇社会人になる、ということと、大学での研究が必ずしも仕事内容に直結しているわけではないことを知りました。
- ◇今までは、ほとんど自動的に小学生、中学生、高校生、大学生となってこれたが、次のステップである社会人には、自動的ににはなれないということを理解した気がした。そこには、ハードルがあると思うようになり、将来について真剣に考えるようになった。
- ◇実習前までは、「企業の名前や業務内容、給料」で志望を考えていたが、実習後には「業務内容、人材育成への力の入れ具合、自分が誇りとやりがいを感じるができる職場か」ということを最優先に考えて志望を決めたいと思うようになった。
また、学校で教わる授業はどれも大切な基礎科目であり、授業の見方も変わった。
- ◇時間的資源に対する考え方、意識を持つようになりました。
- ◇自分の意見を強く持たなければならぬと感じた。
- ◇インターンシップへ行く前、今後の進路を就職するか大学院へ進学するのか悩んでいました。
インターンシップ後は、早く就職して社会人となり、社会に貢献したいと考えるようになりました。
- ◇中小企業に対する考え方が変わりました。中小企業では大企業に比べ、仕事に対する一つ一つの責任が重いような気がして、やりがいがありそうでした。

9. 実習に対する感想

- ◇インターンシップに参加することができて、とても良かったと思う。学校では教えてもらうことのできない、常識から専門的なことまで学ぶことができた。
とても充実したインターンシップの期間だった。
- ◇改めて、自分の不足している点を考える良い機会となりました。また、短所を自覚するだけにとどまらず、短所を長所にもっていくという考え方を学び、これから自己分析をする際にぜひ活用しようと思っています。また、実習をさせていただき、自分もいずれ技術系の職につきたいと意欲が高まりました。また、考え方にもいろいろなアプローチの仕方があり、そのアプローチの仕方によって得られる結果が全く異なるということ学びました。
一つの考え方に固執せず、他の考え方ひや他の人の考えも参考にすると、より良い結果が得られると知りました。これは、就職活動や社会に出てからも必要となるものだと感じ、実践していきたいと思っています。
- ◇「所詮はインターンシップ」と思っていた部分も初めはあったが、長いと思っていた3週間があつという間に感じるほど楽しいものだった。希望通りの実習先ではなかったが、受入れ企業で実習ができて良かったと思う。
見学や座学、雑用だけというインターンシップも多い中、実務を任せられ、初めはものすごく怖く、不安だったが、実務を任せて頂いたことで本当に多くのことを学ぶことができた。
とても実りの多い実習ができて、有意義な夏休みだった。
- ◇企業で実際に行っている他社分析や経営戦略の方法について、実際の例を基に体験することで理解度が深まった。また、就職活動に活かせるものも多く、これらを使って企業分析、自己分析を行っていききたいと思う。
社外研修での工場見学にて、普通に見学する時と違って、技術者同士なので説明中の言葉に専門用語が多く、何度も聞き直してしまった。
似たような分野について研究しているが、少しずれるだけで、これだけ分からなくなるのかと実感した。
- ◇技術的な事は、企業に入ってから教育されることを身をもって経験できたことが良かったです。
その経験から思ったことは、学部のうちからインターンシップに行き、自分がこれからどんな勉強をすれば良いのか、どのような社会的経験を積めば良いのかを早い段階で知ることは、自分の人生設計の大きな糧になると思いました。
大学生はインターンシップに行くべきです。
- ◇大学では絶対に経験できないことができて良かった。
- ◇インターンシップ実習は、とても自分のためになりました。実習中に多くの社員の方々とお話することができ、社会人として必要な事、就職活動時のポイントなど、様々な話を聞くことができました。
ここで学んだことを活かして、今後の学生生活や就活を頑張りたいと思います。
- ◇バイトなどとは違う、社会で仕事をする人たちの大変さや楽しさを身近で知ることができました。
自分が専攻する分野の職業を見学させていただくことで、勉強や就職活動へのモチベーションが上がりました。今後、自分は就職し、社会で働くこととなりますが、そのために役立つことがこのインターンシップにはたくさん含まれていました。今回このような機会を与えていただき、ありがとうございます。
- ◇実習では様々な事を経験した。ただ仕事をするだけでなく、社員の人達と今の経済状況や歴史的な事、あらゆる事柄に対して実際の社会人の人としやべる事で、情報量が増え、知識として身についた。
また、作業中分からない事などをよく聞いたり、空いた時間に談笑したりして、同じ位の歳の従業員の人達とかなり仲良くなった。
現場はなかなか暑くて、きつい内容の仕事も多かったが、あつという間に2週間経ち、少し物足りなさも感じる。いきなり社会に出るより、こういった経験を通して社会勉強をやって社会に出た方が雰囲気もつかみやすいし、踏みはずす事もないと思う。面倒くさいからなどの理由で夏休みを過ごさず、有意義な充実した時間を過ごせて良かった。絶対にインターンシップには行くべきだ。
- ◇非常に楽しく、得るものが多く、有意義なインターンシップだった。私が行った会社はベンチャーだったので、社員の方々とほぼ全員お話をすることができ、勉強になった。
また、大企業にはないベンチャーならではの仕事の面白さ、大変さを知ることができた。